

## 第18回見学会のご案内

### 「中越大震災 10 年メモリアルツアー」のご案内

#### 1 本ツアーの趣旨

新潟県中越地方を震度 6 強の大地震が襲ってから、本年の 10 月 23 日で 10 年が経ちます。

震災以降、全国の皆様に大変なご支援をいただき、今日まで復興に取り組んできました。ここ、小国町法末集落も全住民が避難するほどの災害でしたが、今はすっかり元の暮らしになり、首都圏から住民が 3 世帯移住するなど、明るく元気な村になりました。

このたび、震災 10 周年を記念して、10 年間の復興で得た経験や教訓を、首都直下地震など次の災害への備えに活かしていただければと考え、メモリアルツアーを企画しました。

#### 2 主催

都市農村広域共助ネットワーク（代表 宮田祐介）

★後援：公益財団法人 山のくらし再生機構

★本事業は、農林水産業の補助事業で実施（往復バス代やパネルディスカッション等へ補助）

★代表の宮田氏は、都市計画家協会の会員で、中越大震災後に長岡市小国町の法末集落の復興を支援し、現在は同地に移住。

#### 3 主要プログラム

- ①山古志など震災被害箇所の見学。
- ②中越大震災後 10 年間の復興への取り組みとその成果を報告（アルパカ村）
- ③パネルディスカッション（神戸、柏崎、能登、福島震災体験者による震災後の防災まちづくりの方法について）
- ④震災体験者の語り部（中越震災と復興の道のり）
- ⑤グループディスカッション（首都直下地震への備えと防災まちづくり）



河道閉塞により水没した木籠集落



アルパカ村と村長（元山古志村職員）青木勝氏



#### 4 行程（時刻は予定で、交通事情により遅れることもあります）

平成 26 年 11 月 1 日（土） ～ 2 日（日）

##### 【1日目】11月1日（土）

- 7 時 30 分 新小岩駅東北広場発 ⇒ 8 時 10 分東京駅八重洲南口鍛冶橋駐車場発 ⇒ バスで長岡市へ
- 11 時 30 分 関越高速道 「川口 S A」で昼食（各自負担です）
- 13 時頃 被災地見学（山古志水没集落とアルパカ村）
- 16 時頃 震災被災体験パネルディスカッション（於：山古志震災交流館おらたるホール）
- 18 時頃 法末・川口両集落の宿泊所に到着  
（法末自然の家「やまびこ」、法末農家別荘「りぜん」、川口町古民家宿泊施設、木澤農家民泊木澤ハウスの 4 か所に分宿）
- 19 時頃 中越震災語り部（住民）による震災経験講話。懇親会  
★宿泊施設には、浴衣、タオル、歯ブラシはありません。

##### 【2日目】11月2日（日）

- 9 時 川口震災アーカイブきずな館見学
- 10 時頃 グループディスカッション（於：川口町杜の語り館）
- 12 時頃 川口温泉にて入浴・昼食 ⇒ 14 時頃 川口温泉発 バスで東京へ
- 18 時頃 東京駅着 ⇒ 18 時 40 分頃 新小岩駅東北広場着

#### 5 参加費

- 1 人 8,700 円（宿泊費、懇親会費、2 日目の入浴・昼食、保険料、資料代）
  - ★1 日目の昼食、バス内での飲食や懇親会時の飲料は、各自負担です。
  - ★当日、現金と引き換えに、領収書を発行します。

#### 6 募集人員

先着 15 名程度

#### 7 申込み

10 月 6 日（月）まで、齋藤塾ホームページの「セミナー申込み」か、塾長の齋藤へ <sjuku1@gmail.com>（@の前は数字の 1）

#### 8 その他

- 本ツアーは、災害復興まちづくり支援機構と市民防災まちづくり塾（かたりべ：土屋 信行氏）との共同の取組みです、
- 当日は、小国町との友好都市となっている武蔵野市から、大型バス 1 台が同行されます。

## 新小岩駅東北広場案内図



### 集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。



## 鍛冶橋駐車場

